



## 平面計画

### 左右対称の平面計画

左右対称の平面計画として、2会葬同時受付時に会葬者同士の動線を分離し、プライバシーを確保しました。

### 会葬者と職員エリアの明確な分離

会葬者エリアは南側、職員エリアは北側に集約配置することで、それぞれのエリアを分離し、落ち着いた配置とし、足元から全面ガラス貼りで周囲の緑を取り込んだ豊かな空間としました。

### 待合室

新斎場で新たに設置される待合室は、全て南に向けた配置とし、足元から全面ガラス貼りで周囲の緑を取り込んだ豊かな空間としました。

## 外観計画

### 周囲の起伏と呼応するゆるやかな屋根形状

建物中央に向かって盛り上がった丘のような形状の大屋根で建物全体を包み込み、起伏のあるランドスケープとの連続性を感じられるデザインとしました。

### 森に馴染む緑が映えるアースカラーの色彩計画

施設の色調は、緑が映え、落ち着きのあるアースカラー中心の色彩計画としました。

## 内装計画

### 「最後の場」にふさわしい、静謐で厳かな空間

自然光をふんだんに取り入れ、木目調のシートとコンクリート等の落ち着いた内装とすることで、「最後の場」にふさわしい静謐で厳かな空間としました。

## 災害対策

- 十分な耐震性能を有する、災害に強い施設としました。
- 自家発電機を設置することで、停電時においても機能が停止しないようにしました。

